皇室事項

信任状捧呈式

一月十五日午前十時三十分、宮中において、新任本邦駐在スペイン国特命全権大使ゴンサロ・デ・ベニート・セカデスの信任状捧呈式を行われた。

一月十五日午前十一時、宮中において、新任本邦駐在ポルトガル国特命全権大使フランシスコ・マヌエル・ダ・フォンセカ・シャヴィエル・エステヴェスの信任状捧呈式を行われた。

御祝電

天皇陛下は、チュニジア国大統領ベジ・カイド・エセブシ閣下の大統領就任につき、一月十四日御祝電を発せられた。

天皇陛下は、モザンビーク国大統領フィリッペ・ジャシント・ニュシ閣下の大統領就任につき、一月十五日御祝電を発せられた。

歌会始の儀

一月十四日午前十時三十分、宮中において、歌会始の儀を行われた。

御製、御歌、皇族の詠進歌、召人及び選者の詠進歌並びに選歌は、次のとおりである。

御製

夕やみのせまる田に入り稔りたる稲の根本に鎌をあてがふ

皇后宮御歌

来し方に本とふ文の林ありてその下陰に幾度いこひし

東宮

山あひの紅葉深まる学び舎に本読み聞かす声はさやけし

東宮妃

恩師より贈られし本ひもとけば若き学びの日々のなつかし

文仁親王

年久しく風月の移ろひ見続けし一本の巨樹に思ひ巡らす

紀子

日系の若人かたりぬ日本へのあつき思ひと移民の暮らしを

眞子内親王

呼びかける声に気づかず一心に本を読みたる幼きわが日

佳子内親王

弟に本読み聞かせゐたる夜は旅する母を思ひてねむる

正仁親王妃

新しき本の頁をめくりつついづく迄読まむと時は過ぎゆく

寛仁親王妃

松山に集ひし多くの若人の抱へる本は夢のあかしへ

信子

数多ある考古学の本に囲まれて積み重なりし年月思ふ

彬子女王

来客の知らせ来たりてゆつくりと読みさしの本に栞入れたり

憲仁親王妃

霧立ちて紅葉の燃ゆる大池に鳥の音響く日本の秋は

久子

緑陰に本を繰りつつわが呼吸と幸くあひあふ万の言の葉

承子女王

送られし古本市のカタログに一冊を選るが慣ひとなりぬ

召人　春日真木子

音読の声が生まれる一限目明日へ遠くへ本がいざなふ

選者　篠弘

本棚の一段分にをさまりし一生の量をかなしみにけり

選者　三枝昂之

秋の気の音なく満ちて指先に起こしては繰る本こそが本

選者　永田和宏

開かれて卓上にある一冊の本を囲みて夕餉のごとし

選者　今野寿美

選　歌（詠進者生年月日順）

選者　内藤明

若き日に和本漁りぬ京の町目方で買ひし春の店先

奈良県　伊藤嘉啓

おさがりの本を持つ子はもたぬ子に見せて戦後の授業はじまる

新潟県　吉樂正雄

竹垣の露地に仕立てた数本の太藺ゆらして風わたりけり

愛知県　森明美

大雪を片寄せ片寄せ一本の道を開けたり世と繋がりぬ

長野県　木下瑜美子

「あったよねこの本うちに」流された家の子が言ふ移動図書館

千葉県　平井敬子

本棚に百科事典の揃ひし日に父の戦後は不意に終はりぬ

埼玉県　森中香織

二人して荷解き終へた新居には同じ二冊が並ぶ本棚

茨城県　五十嵐裕治

雉さんのあたりで遠のく母の声いつも渡れぬ鬼のすむ島

神奈川県　古川文良

暑い夏坂を下ればあの本のあの子みたいに君はゐるのか

岡山県　中川真望子

この本に全てがつまつてるわけぢやないだから私が続きを生きる

神奈川県　小林理央

官庁報告

官庁事項

内閣官房組織令（昭和三十二年政令第二百十九号）第十二条の規定に基づき、内閣官房に地域活性化総括官を置く規則を次のように定める。

平成二十七年一月十九日

内閣総理大臣臨時代理
国務大臣　麻生　太郎

内閣官房に地域活性化総括官を置く規則

1　内閣官房に地域活性化総括官一人を置き、内閣官房組織令第七条第一項に規定する内閣審議官のうちから命ずる。

2　地域活性化総括官は、内閣官房副長官補を助け、都市再生本部、構造改革特別区域推進本部、地域再生本部、中心市街地活性化本部及び総合特別区域推進本部に関する事務を整理する。

附　則

この規則は、平成二十七年一月二十日から施行する。